

8月23日(木) 午前8時半から 大門中学校で



総合防災訓練にご参加を

毎年8月30日～9月5日は、防災週間です。市では、この防災週間に先立ち8月23日(木)に、防災関係機関やボランティア団体の皆さんと一緒に、大門中学校を訓練会場として、震災発生を想定した「総合防災訓練」を実施します。詳しくは総務部総務課防災係(内線2223)へ。

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

災害に備えて 家族会議を!

もしものとき、家族がバラバラでは困ります。次の例のようなテーマで家族会議を開いて、連絡方法や避難場所などを確認しておきましょう。

家族の役割 火の始末をする係、電源(ブレーカー)やガスの元栓を止める係、高齢者の安全確保をする係、持ち出す荷物の分担など

消火について 消火器や三角バケツの置き場所の確認と使い方

家族間の連絡方法 電話、ファクス、玄関の張り紙などを使い、安否の情報を伝えるように話し合ひましょう。親類や知人を連絡中継地にしたリ、伝言センターを利用する方法もあります

避難場所の確認 自宅からのいっとき避難場所や避難所も全員で確認し、落ち合える場所を決めましょう

避難経路の安全確認 いっとき避難場所や避難所へのルートを確認。また、実際に歩いて避難経路の安全を確認しておきましょう

非常持ち出し品のチェック 非常食や飲料水などが古くなっていないかチェックしましょう

家具転倒防止対策や整理整頓 家具は転倒防止がしてありますか。整理整頓の大切さも話し合ひましょう

乳幼児・病人などの避難方法 身軽に動けない家族を避難させる方法を考えましょう

地震情報の入手方法 携帯ラジオは必需品。噂(うわさ)やデマに惑わされないように話し合ひておきましょう

災害はいつ起こるか分かりません。そのときに備えるため、ぜひ「総合防災訓練」にご参加ください(写真は、昨年の訓練の様子)

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

訓練当日サイレンが鳴ります 身の安全確認を!

訓練当日(8月23日)の午前8時43分に、警戒宣言発令を知らせるサイレン(45秒鳴り、15秒休み、3回繰り返す)を鳴らします。これを合図に、各ご家庭では、火の元の点検や水のくみ置きなどの訓練を行ってください。

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、

阪神・淡路大震災から12年が経過しました。首都圏では現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについて、